

[illegible][illegible]

- 一、夜一時間以上讀書することが、出来ない迄に疲労し、稽古に通つてもよく覺へられない。
- 一、妊娠、月經時の場合は身體に多少困難を感じ、體操科などは休みたい。
- 一、自然に女性の優しい純な心を失ひ、中性化する様な氣がする。
- 一、異性に對する憧れが、裏切られて失望する。
- 一、通勤の電車中で不謹慎な行爲をする紳士の多いのに驚く。
- 一、タイピストは目と頭を多く使ふ故休みを多くして欲しい。
- 一、事務員は一日渴つた、空氣の中で働いてゐるので健康のためによくないから、運動場の設備をして欲しい。
- 一、月給を月給にして、且つ自活の出来る程度にあげて欲しい。(待遇を平等に)
- 一、金銭の貸さを知る様になつた。
- 一、世人の冷めたい眼を以て、見られるのが心外。
- 一、看護婦は信仰と愛が必要。
- 一、口の悪くなつたことと、人に惡感情を抱かせる様なことを平氣で云ふ様になつた。
- 一、交換手に馬鹿などと惡口を云つて貰ひたくない。
- 一、交換手は頭痛持ちになる様な氣がする。
- 一、娯樂、修養機關を設置して頂きたい。
- 一、託兒場、兒童遊園地の設置。
- 一、炊事、洗濯、裁縫等の社會化。
- 一、留守居なしに出掛けられる住宅。
- 一、婦人専用の電車運轉。
- 一、結婚媒介所設立等である。

尙職業婦人の感想並に希望に就いての回答を抄録せば。

- 一、子を持つて知る親心として、職業の重大なるを感ずると同時に薄學なるを残念に思ひ、研究心はあれど時間に餘裕なく家に歸つて

も、四季夫れ／＼衣類の用意に追はれ、又公休日にも何々の會合等にて休むことの出来ない場合もあり、いろ／＼職務に追はれて、疲労の回復する間もない。従つて家庭にも遠ざかり、自分の子供の教育さへも充分に出来ないといふ様である。

- 一、子供は三歳と一歳の二人あります。學校までは一時間かかります。子供は金魚の如く顔を描へて待つてゐます。袴も取らずに乳をふくませ、臺所へ出で女中の指圖をします。子供でも悪い時には一睡も出来ません。それで翌日は病氣の子供を経知な他人にあづけて出ねばなりません。それから腰の落ち付くよい留守居番の無い事も心を痛めるです。いつも心身は疲れてぼんやりしてゐます。
- 一、職業に對しては、自分は苦痛よりも楽しい方が多い。一つは健康であること、家事の一切は私以上健康な母が充分して下さるか、家を忘れて外の事に従事することが出来る。夫がいつも不在勝だから、平常はあまり疲労を感じぬ、目下は六年受持で入學準備のため大いに疲れる。さうして讀書修養の時が少い。
- 一、放課後に何々の會、何々の講習、講演といふのが引きりなしにあるので、明るい中に家に歸るといふことは六ヶ敷しい。家庭のあつても、これが何より苦しい。

- 一、小學校教育ほど重大で至難のものは無と思ひます。そして自分を省みる時あまりに其力の貧弱であり、人を教化するに足る何物をも持つて居ないことを、思ふ時に實に心を痛めます。

- 一、仕事も眞面目にすれば、するほど多く、且つ一日六時間も打續けて教壇に立ちますと實に疲労します。私は常に思ひます。職業に従事しても、家庭生活は度外視したくないと此邊何時もなやみます。もつと子供を養育する時間と、元氣、夫を優しく迎へる心身の餘裕がほしいと思ひます。

- 一、充足の時、五六十人の生徒を引率せる養中の心勞。

教授時間最中に地震或は近火、暴風雨に際し、兒童を如何に處置すべきかの心勞。

視學巡視の場合、三分か五分間位を參觀して當を得ざる批評をせらるゝが最も心外。

家族の者、病床にある時、勤務せねばならぬ事、又其際授業後も長く學校も居らねばならぬ場合の悲痛。

- 一、既婚の職業婦人に對しては、勤務時間を、未婚者又は男子より遙かに少くされた事、少くも夫の歸宅よりは一時間以上前に歸宅し、夫の歸宅を待ち受くる位に。

- 一、教師は心身を勞する事が多いが楽しみも亦多い。殊に自分に子供のある場合には、養育上非常に參考になる。身體上困難を感じる

のは、妊娠の時である。

- 一、冬季防寒設備不十分のため、妊娠中及生産後の場合には、身體に障害ある様である。ストーブは朝二時間炊くしか石炭がない。あとの三四時間は火氣のない板の間に立つて、仕事をしてゐる。
- 一、自然に女性の優しい心を失ひ、舉動も従つてつましやかさを缺く様になる。
- 一、月経時には、體操科の如きは休み度いと思ふ。
- 一、努力の効果が直接にあらはれるだけ、楽しみも亦一入である。
- 一、然し一組の児童数があまりに多すぎる爲どうしても、思ふ様にならぬのが遺憾である。
- 一、電車内にての誘惑はなか／＼ある殊にすしめ満員の場合に。毎日喉を使ふことの爲めに、非常に疲れる。遊んでゐる時と比べて解がきたない様である。
- 一、世におくれない様に絶えず修養してゐる積りであるが、世人稍もすれば職業婦人を輕んずる風あるを、常に遺憾としてゐる。
- 一、男子と同等の能率をあげ得ない職業は別として、同等にあげ得る職業に對しては、男女の區別なく待遇せられん事を望む。
- 一、就職して日まだ浅く、よくは解らぬがこの職に長くある者の一年多ければ、それだけ心持が硬く、デリケートでなく、女としての柔かさがなく、温みがなくなつて、極言すれば石の様になつて行くことを、實際多くの先輩がさうなつてゐることを嘆く。
- 一、女教員は誘惑でなく、理解が成立する事は大にあります。普通誘惑されるのは、自分に誘惑されたいといふ内心があるからです。潔白な女性に男子は近づけるものではありません。
- 一、校長が男性の爲もあらんが、女子と男子に對する、待遇に差のあることを不満に思ふ。(教師)
- 一、役所で聞くに堪へない事を男子に云はれた時、初は涙を流した事もありました。併し度重なる中には、平氣に過します。すれるのでなく、慣れるのだと思つてゐます。男子のつまらぬ一言が、如何に私達の純真な魂を傷づける事でせう、女子を玩弄の様に居るのかと思ふ残念でなりません。
- 一、就職して初めの一年間位は技術の不熟練で仕事の様子のわからぬ爲無中の状態、次の一年は一番好く働ける時、次は仕事に倦怠を感じ身體に疲労を覺ゆ。
- 一、夕方になるを待ちかねて、家路を急ぐ様になり、帰宅しても何も手を出さず氣力なく、家人と雑談にふける位の状態——異性に對す

る情が裏切られ、失望を感じます。それ等のものが積つて暗い影を心の上に落す様に思はれる。小説の様な恐ろしい誘惑は無いと思ふ。併し確かりしてゐないと心を傷けられる。

- 一、タイピストは目と頭を使ふからもう少し休みを多くして頂きたい。(タイピスト)
- 一、かなり疲労します。俸給を少し上げてほしいと思ひます。
- 一、日給を月給にせられたし、凡ての意味で女子に對する待遇の公平を切望します。
- 一、たいして疲労もしないが、一日濁つた空氣の中で働いて居るので、健康のためによくないと思ひます。職業もつ私達をともしれば不良呼ばはりされる事は最も悲しい事です。
- 一、疲労はしないが、食事後の空氣にふれたいと思ふ。
- 一、課長掛長、など上の方と私達、下の事務員との間にあまり親しみが無い事です。それが若し悪い主任に逢ひますと自分達の技倆を認められない許りか随分思ひもよらぬ濡衣を着せられて惱まれることが度々あります。
- 一、毎日仕事を終へて歸るとすぐ眠むくなります。男の方が歸りに待つてゐて色々誘惑するので困ります。
- 一、就職の初めは秘密にて夢みてゐた世の中と現實の社會との相違の餘りに甚しいのに驚きました。現在では却つて苦しい中にも眞實の喜びが味ひ得る様になりました。
- 一、新聞雜誌を読む位で、何か獨習したい氣はあつても到底出来ぬ位に疲労します。
- 一、お人形の様だつた、日本婦人も皆私共の様に活動して頂きたい。
- 一、金錢の貴さを知る様になりました。一日の事務を終へ家に歸り夕食でもすませばすぐねむくなり、先生の處へ稽古に行ても腦が疲れて居るためか、中々覺えられせん。
- 一、純なところがありません。
- 一、力加の細かい數をみつめながら、終日球算をするのですから眼も頭も疲れます。今少し女子を優遇して下さい。(事務員)
- 一、普通は少しも疲れませんが、中元、歳暮等の賣出し中は非常に疲れて歸宅後は新聞を見る位がやつとです。
- 一、夜一時間以上讀み出れない程疲労します。向上心には富みますが女らしさが缺けます。勤務時間の短縮、修養に關する講演會等を希望します。

一、私共職業婦人に對し、或る一部の方は賤しみの目を以て見て居られますが、私達はあくまで強く誘惑に打勝つて眞面目な職業婦になり度く思つて居ります。

然し婦人の天性たる優しさ、淑やかさは欠け度くありません。

一、店員は就業時間の長い割合に休憩時間や、休日が少く何も出来ませんからせめて、日曜毎に休める様にして頂きたい。

一、店員といふ仕事に思つたより氣骨の折れる事を過去一年間に必^く経験いたしました。夫故身體の疲れよりも精神的に疲勞を覺えます。(店員)

一、看護婦は信仰と愛とが大いに必要と思ひます。如何なる職業よりも、誘惑の機會が多いと思ひます。今少し世人が看護婦に對して同情と理解とがあつて欲しいと思ひます。

一、私は病める人の爲めに、自己の體をなげうつて、眞面目に働いてゐるにもかかはらず、世人から冷き眼を以て見られるのを悲しく思ひます。(看護婦)

一、十時間の勤務を終へると早く、家へ歸り度いといふ事で一ぱいです。口の悪くなつた事、人に悪い感情を抱かせる様な事を言ふ様になつたのは、職務が心身に及ぼす影響でありませう。

一、相當に疲勞いたします。婦人のみの集りなれば、誘惑の機會は少うございます。然し近頃は、電車内にて、不良青年の誘惑が盛です。殊に満員電車に乗り込みますと、知らぬ間に戀文、脅迫文等が入つて居ることがあります。

一、一般に交換手は、人から見下げられます。

此頃市内電車に、悪い人が時々居ります。

一、男の社員の方々が馬鹿とか、其他の惡口を言はれますがそれを止して頂きたいのです。私の會社は繁忙故に疲勞の程度も強うござい^{ます}。

一、晝夜間斷なき業務で殊に、夜勤の場合は、睡眠不足の爲め、心身の疲勞が多い。

家事の手傳ひも、亦自分の作業も、此の疲勞を癒する睡眠のために出来ません。物質的、精神的の慰安が必要です。

一、プレストを掛けると、受話機の爲ですか、頭痛持になる様です。

一、夜勤を廢止することは、不可能ですから、勤務時間を短かくすること、衛生、慰安等を、もう少し考へる事、地方より上京して來

る者のために、寄宿舎を設けること、俸給も自活の出来る程度にあげること。

一、私共はたしかに人がすれます。氣の荒い相場師等を相手にする故かも知れませんが。(交換手)

一般の希望事項としては、

一、講演講習會の開催——就職して最も恥しいのは教育の足りない、そして常識に乏しい事です。私はそれを深く感ずる毎に眞に充満した、時事問題、思想問題等に關する講演及かい處へ手の届く様な適切な講習會の開催を望みます。

一、職業教育の夜學校——ともすれば時勢に遅れ勝て私等の爲めに時間の自由な夜學校が欲しい、そして將來獨立の出来る資格が得たい

一、便利な稽古所——私共の半數以上は自己の稽古事の費用に充當する爲に、就職してゐるのですから、時間省略の爲め同一箇所にて、例ての稽古が出来る様な、設備を望む。

一、見學の便宜——隨意に研究し參觀し得る特點を與へて頂きたい。

一、圖書閱覽の便宜。

一、レコードコンサートの開催。

一、運動場設置——一日濁つた空氣の中で執務して居るのですから、一寸休み時間を利用して、散策出来る様な運動場を望む。

一、運動器具の設備——身體の平均運動のために。

一、婦人専用の運動場——晝の休憩時間を利用する。

一、保健局の設立——健康状態及衛生相談のために。

一、寄宿舎の設立——地方より上京の未婚の職業婦人に、住宅の不安と誘惑とを除くために。

一、アパートメント式の住宅。

一、留守居なしに出られる住宅。

一、職人會館設立——修養と娛樂のために。

一、身の上相談所の設立。

一、乳兒預り及託兒場の設立

一、購買組合の組織。

- 一、共同洗濯所、共同炊事場、共同裁縫所の設立。
- 一、副食物配給所の設立——職員會等で歸りがおこなつた場合、よい夕飯のお茶が手に入れたい。
- 一、婦人派出會の設置——家庭には、時々不自由な事が出來ます。例へば主婦の出産の場合、家人に病人のあつた時、又は急に留守居に行かれた時などはほんとに苦しいございます。こんな時に間に合ふ女中を容易に得らるる機關を望む。
- 一、婦人専用の電車——時間勤めの私達はいつても、満員のために非常に困難します。殊に朝の爽快な気分を、こわしてしまいますから十五分毎に、婦人専用の電車が出たらと思ひます。
- 一、市電の定期券——毎日電車に乗るのは、死にもの狂ひで乗り換へ切符を貰ふ事も出來ませんから。
- 一、歸りの時間を五分間早くして頂きたし。
- 一、待遇の公平——日給を月給に且つ同じ能率に對しては、男女の差別なく待遇を平等にせられたし。
- 一、職業婦人に對する、人格の尊重と理解を望む。
- 一、女は頭があらがない——私は何の希望もありません。けれども、あまりに、女は頭があらがない、いつも壓し付けられて居るのが厭です、どうして女に權利を與へて呉れないのかと思ひます。
- 一、するものは男がさうしむける。——職業婦人はすると云ふけれど之は男子自身女子に對して、さうなる様にしむける故と思ひます。今少し女子に對する態度を眞面目にして下さい。
- 一、女店員を活動の女給か何かの様に見られるのが悲しい。
- 一、職業婦、團體——徒らに演説などしなくてもよいから眞面目な團體を組織したい。
- 一、職業婦人の懇親會を年一回開催したい。
- 一、産前産後の保護施設——教師ばかりでなく、事務員にも適用して頂きたい。
- 一、遺族扶助料——離婚者の立場として、職務にたふれた時、家族の生活を保證して欲しい。
- 一、結婚媒介所を設立して頂きたし。

第三編 附 錄

第一 女工に關する調査概況

本調査は大正十年十一月、府下に於ける女工使用の五百工場並に二千五百人の女工に調査票を配布し三百七十七工場と千九百六十四人の女工の回答及實地調査とを基礎として、集計したるものを抄録したものである。

産業が發達すればするほど、機械が進歩すればするほど多くの仕事は女の手でも間に合ふやうになる。そこで資本家はなるべく男手を減らして、女手を使ふ様になるから、今後益々婦人労働者が殖えて行く事になる。女なら賃金は安いし、反抗力は弱いし、資本家に取つて此れ程都合のよいことはいない。世に女工の境遇ほど悲惨なものはない。殊に紡績、機械、製絲等の工場に入り、彼等の働き振りや、寄宿舎生活を見る時は同情の涙なしには見て居られない。

我國の機械工業は半以上婦人の手に依つて、維持されて居る。東京府下だけでも、震災前には約六萬六千人（現在は五萬三千八百十四人）全國では、約九十一萬二千人の婦人が工場で働いて居る。是等の女工は大、分十五六才から二十一二才の妙齡の婦人である。そして若い者ほど就職歩合がよく、二十才を過ぐれば次第に數を減じ、二十三才からは激減して行く。

これは女工と結婚との關係であつて、即ち娘時代は身が自由な儘に一家の生計を補助せんが爲めに或は、嫁入仕度を自分の手で作る爲に工場に出て働くが、相當に嫁入り仕度も出來、配偶も見當つて結婚生活に入れば大部分、労働生活を捨てゝ家庭に閉ぢ籠るのが通例の様である。

左に女工の身上に關する事項を記せば

一四〇

年齢別	實數	比	例
一、年齢	千九百三十四人中		
一五歳以下	三〇人	一・五%	
一六―二〇	六七一	三四・七	
二一―二五	五三〇	二七・四	
二六―三五	四二一	二一・八	
三六―四五	二二〇	一〇・八	
四六―五五	六五	三・四	
五六歳以上	七	〇・四	
計	一、九三四	一〇〇・〇	

二、配偶關係	千七百七十七人中	
有配偶のもの	六二三人	
離婚したもの	七人	
死別したもの	三六人	
未婚のもの	一一二一人	
三、子供の有無	有配偶者六百十三人中	
子供あるもの	四三〇人	
子供數	七八二人	
一人當り子供數	一・八人	

四、両親の有無	千九百二十九人中	
両親ともあるもの	〇五〇人	
片親なきもの	五八二人	
貧母逃走したるもの	一人	
繼父母のもの	一人	
父親行衛不明のもの	四人	
両親とも無きもの	二九一人	
五、教育程度	千八百八十九人中	
尋常小學校卒業のもの	七〇八人	
尋小半退のもの	八二八人	
高等小學卒業のもの	一四九人	
高小半退のもの	六三人	
實科高女卒業のもの	四人	
高女半退のもの	二一人	
餘暇修學のもの	六人	
無就學のもの	一一〇人	
六、就職の理山	一千八百十三人中	
一、生計困難のため	一、〇〇八人	
一、両親の手助のため	一三〇人	
一、親孝行したきため	四三人	
一、結婚しても子供なき中は暇ある故夫の手助をなすため	二一人	

一四一

一、金を貯めて神佛詣りをするため
一、親の膝の下に許りゐると我儘になるから
一、一人前の人になりたいから
一、家にゐても仕事がありませんから
一、苦學失敗のため
一、農業がいやですから
一、田舎で働くより澤山の収入があると思つて
一、都に憧れて上京したため
一、上京して金を貯め様といふ矢先友達に誘はれて
一、募員に救されて來ました
一、子供に着物を着せたいため
一、嫁入仕度を拵へたため
一、仕事之餘暇に勉強したため
一、金を(小遣)貯へたため
一、着物を拵へたため
一、自分の好で勤めて居ります

女工生活——「ねぼけ眼で朝の五時から辨當箱下げて工場通ひのいちらしや、娘盛りをこみの中晩にや死んだやうになつて寝る。小鳥でさへ自由な天地はあるものを……草木も夜はねむるといふに」と歌ふ聲も場末の街に聳ゆる赤い建物からは他へもれるよしもない。

汽笛の音に曉の夢を破られて身仕度もそこ／＼に炊きたての朝飯をかき込み、煮豆や鹽鮭入りの辨當箱を小脇に抱へて徒歩や割引電車にブラ下つて工場へ急ぐ通勤女工もあれば、宿舍より起き出でて蛇口より水を手に受け猫の洗面

一人
二人
三人
一人
五人
二人
八人
一人
一人
三人
四九人
三六人
八三人
四九人
五二人

の様な至極簡單な洗面の後、食堂で生溫い味噌汁に遠冷めのした飯で兎も角も食欲を満し六時といふに作業場へ入る寄宿女工もある。作業場へ這入れれば、もはや間斷なき機械の廻轉は始まりて、終日の勞苦が待ち受けてゐる。

作業場は一般に衛生設備が不完全で、換氣採光等十分に行はれてゐない。殊に紡績や、機械の工場など眼まぐるしく機械は廻轉する。それに連れて耳を聳する許りのエンジンの音、滾々と立ち舞ふ綿埃、乾燥のた、絲の切れるを防ぐ氣味悪い温度、濁つた空氣かゝる零團氣の中に多くの男工と打ち混つて、六時から八時までの十二時間、或は七時から五時迄の十時間、晝の三十分、午前、午後の各十五分宛合計一時間の休憩をするだけで、終日興味の無い單調な仕事を然も立ち詰めで、續けて行かねばならない。

勞務時間 (三百十七工場中)

業務別	紡織工場	機械工場	化學工場	飲食物工場	雜工場	特別工場	官營工場	計
勞務時間								
七時 間	1	3	2	1	3	2	1	1
八時 間	1	7	3	2	6	1	1	1
八時 間 半	1	1	1	1	1	1	1	1
八時間四十分	1	1	1	1	1	1	1	1
八時間五十分	1	1	1	1	1	1	1	1
九時 間	1	1	1	1	1	1	1	1
九時間半	1	1	1	1	1	1	1	1
九時間四十五分	1	1	1	1	1	1	1	1
九時間五十分	1	1	1	1	1	1	1	1

十時間	一六	二二	四五	一二	四六	二六	五	一七一
十時間半	一	一	一	一	二	二	一	七
十一時	一七	一	六	一	一	一	一	二八
十一時半	三	一	一	一	一	一	一	三
十二時	一七	一	三	一	一	一	一	二二
十二時半	一	一	一	一	一	一	一	一
十三時	五	一	一	一	一	一	一	五
計	六四	三九	八四	一八	六四	三九	九	三一七

それも晝働いて夜眠るならまだしも、紡績機織の工場となると十二時間の晝夜業で一週間交替となつて居り、其の他の工場と雖も、仕事の繁忙な時は、二時間乃至四時間の居残り作業を課して居る。(三百十七工場中晝夜業の處十八工場、居残り作業のある處六十三工場)

夜業——人間は晝働いて夜眠るべきものなるに、晝寝て夜働くといふことは、何といふ大自然の攝理に背いた事であらうか。某織物女工の述懐に「夜業がなかつたら、私達はどんなに嬉しいでせう、まだ宵の中はさうでもありませんがだん／＼夜も更けて、十二時一時となりますと、眠むくて／＼慾にも得、も堪へられなくなります。こんな時にはよく織り斑や糸を切らしたりしてなか／＼晝の様に仕事が始まりません。それ許りでなく疲れも一層はげしく身に應へます。其上一週間も日の光りに當らないのですから、頭がぼんやりして食べ物がまづく、夜業に慣れない中は、目に立つてやせて行く様な氣がします。」と

寄宿舎生活——終業の汽笛に張り詰めた氣も一時に弛んで俄に疲勞を感じた物憂い體を各々家庭に或は宿舎に運ぶ

のであるが、通勤の者は兩親が満足に揃つて居らないながらも、母親なり、父親なり、或は弟妹なりに圍繞せられて打ち解けた暖い時を過すことも出来やうが、親の膝下を遠く離れて、異郷の空に他人同志共同生活をなす者に取つては、朝夕如何に懷郷の念にかられる事であろう。

宿舎は部屋とは名ばかりで、廣いガランとした室内には、床の間は勿論、何の裝飾さへもなく、一脚の机一冊の書籍すら見當らない始末、偶々あれば低級な小説、講談本、婦人雜誌位のも是が修養盛りの知識慾に燃えてゐる若い女性の居室かと思へば、坐に暗涙を催されるのである。

寄宿女工の天地は、疊一疊半で、唯一の自由な安息所は垢で黒光りする煎餅蒲團である。又生命を繋ぐ食費は一日平均三十六錢四厘に當つてゐる。

左に寄宿舎の設備と寄宿女工數とを記せば

寄宿女工收容人員と宿舎設備

工場名	收容人員	一人當りの疊數	食費の實費	女工より徴收の食費
東京キヤラコ製織株式會社	二、五九一	一、五	四五、〇	一二、〇
鐘ヶ淵紡績株式會社	二、三四三	一、五	四五、〇	一二、〇
東京モスリン紡績株式會社	二、一七一	一、五	二一、〇	一〇、〇
大日本紡績橋場工場	一、九七七	一、四	二一、〇	一〇、〇
富士紡績押上工場	一、一五七	一、六	一	一五、〇
同 小名木川工場	六三六	一、五	一	一五、〇

東洋紡績王子工場	一、五二八	一、五	三〇、〇	一〇、〇
日本製麻赤羽工場	一、〇五九	一、五	一	九、〇
大日本紡績深川工場	一、〇四九	一、六	一七、〇	一〇、〇
片倉製糸八王子工場	七二〇	二、〇	五五、〇	工場持にて食費を徴収せず
東洋モスリン第一工場	七九三	二、二五	二一、〇	九、〇
同 第二工場	六六三	二、二五	二一、〇	九、〇
小口組赤羽製絲所	六〇〇	一、二	三六、〇	九、〇
東京毛織南千住工場	三二三	一、七	一	一〇、〇
同 王子工場	三二二	一、五	一	一〇、〇
同 大井工場	三五〇	一、五	一	一〇、〇
栗原紡織株式會社	三三七	一、七	一	一〇、〇
山 八 製絲所	一九七	一、五	二五、〇	一〇、〇
西 川 製絲所	一七〇	一、五	六〇、〇	一〇、〇
笠 本 製絲所	一一四	二、〇	三五、〇	一〇、〇
小 山 製絲所	一四〇	一、五	三五、〇	一〇、〇
鴨 下 製絲所	九八	一、五	四五、〇	一〇、〇
浦 野 製絲所	六二	一、六	三五、〇	一〇、〇
薄 口 製絲所	五三	一、五	五五、〇	一〇、〇
日本製紐四ッ木工場	一五七	一、五	四〇、〇	工場持
久保田織物工場	九二	二、〇	三六、四	一一、七
平均		一、八強		

工場には補習教育を初め、裁縫、琴、生花なども習得したければ習へる様な設備も整つて居る。けれども人の精

力には限りがある、過度な労働で精も根も盡き果てて居る身には、よし燃える様な智識慾があつたにしろ 受け入れらるべき筈はない、願ふところは唯入浴、夕食、雑談、安眠許りである。

趣味娛樂——女工の楽しみはといへば、休日に出外すること、着物を作ること、故郷よりの便りと、活動と、日頃憧れてゐる美味しいものを食べること等で、又辛い事は長い勤務時間、夜業、月経時の作業、睡眠の不足、食物の粗悪と、自由を束縛される事等であらう。左に趣味娛樂に關する回答を記せば

趣味娛樂 (二千二百三十六人中)

芝居	五四四人
活動	四九六人
寄席	一二一人
琴藝に關するもの	三四七人

裁縫一四七、讀書七七、音樂四七、工場長のお話三〇、學校へ行くこと九、新聞を読むこと七、小説を読むこと六、習字五、學藝會五、讚美歌三、料理の稽古三、繪をかくこと二、和歌及詩二、ミシン稽古一、校染一、細工物一、作法の稽古一、遊藝に關するもの 一八〇人

生花六二、琴三四、三味線二二、踊一四、琵琶一〇、義太夫九、茶の湯八、ハイモニカ八、浪花節四、常盤津四、大正琴四、尺八一、

精神的なもの 二一三人

子供の成長八五、愉快に働くこと二四、老後の安樂一三、神佛信仰一二、年期の明るのが楽しみ一〇、一家團樂一〇、母に贈物して喜びの手紙を受けること八、親兄弟よりの通信七、友達と故郷の話をすること四、教會へ説教を聞に行くこと八、將來の成功三、両親の健在四、親を安心されること九、天理教を信すること二、墓詣をすること二、弟兄の成功五、早起す

ること一、行末師匠になること一、孫に逢ふこと一、子供を産んで養育すること一、母の笑顔を見ること一、弟の除隊一、旧縁を信仰すること一、

物質的のもの
金を貯めて國へ歸ること四七、貯金をすること三七、着物を作ること三〇、親元に送金すること三、金を貯めて開店すること三、飲食すること一、喫煙すること一、髪を結ぶこと一、養鶏一、世帯道具を買ふこと一、債券に當ること一、勝負事に關するもの

歌留多九一、勝負事一五、双六六、羽子三、角力二、ビンボン二、テニス一、劍術一、將棋一、休養に關するもの
休みに外出すること三三、休日二一、散歩九、夜業の交替日五、旅行登山四、読足四、園藝二、運動遊戯三、睡眠一、釣魚一、花見一、

読み物購読状態——千三百二十三名中何も購読してゐない者が二割七分もある。讀物の中で最も多いのが新聞で、購読者の五割六分を占め、雑誌は四割三分、書籍は極く僅で四分に過ぎない。讀物の主なるものは

一、新聞 (九百三十五人中)

やま	一七四	東京毎日	一二三
都二	一〇〇	東京毎日	七八
萬國	四二	東京毎日	六六
報時	五四	東京毎日	五三
勞務	五三	東京毎日	二七
	三一	東京毎日	三〇
	二五	東京毎日	一四
	一〇	東京毎日	五六

二、雑誌 (七百二十二人中)

婦人世界	二〇一	主婦の友	九六
婦女界	九〇	少女の友	三七
少女世界	四三	家庭雑誌	二七
女學世界	二四	婦人の友	一三
婦人公論	一〇	其他	一八一

三、書籍 (五十八人中)

小説	一七	聖書	六
學校の教科書	四	紅葉全集	二
源六全集	一	裁縫講義録	一
其他	二七		

収入——一日十時間も働き詰めた其の汗と脂との結晶は日給平均八十七錢三厘、一ヶ月の収入二十六圓十六錢であ

業務別に依る日給並に一ヶ月の収入

業務別	日給及月収	日給 (十時間労働を標準として)	一ヶ月の収入
紡織工場	八四	五〇〇	二五、一六
機械工場	八七	一、〇〇〇	二八、五〇

化學工場
飲食物工場
雜工場
官督工場
平均

一、七二
一、七二
一、一一
一、〇〇
八七
一、〇〇
二〇、〇〇
一六、〇〇
一九、〇〇
三五、〇〇
四五、〇〇
五〇、八〇
四五、〇〇
二二、六二
二五、四二
三〇、五三
三〇、六八
二六、一七

一ヶ月の収入別 (一千九百四十一人中)

一五圓以下	一二〇人	四六、五〇	一八人
一六—二〇	八一三	五一、五五	二
二一—二五	二七〇	五六、六〇	一
二六—三〇	四四九	六一、六五	一
三一—三五	一二七	六六、七〇	一
三六—四〇	一〇七	計	一九四一
四一—四五	三三		

給料の支途——就職理由が各自に依つて、異なる如く給料の支途もそれ／＼異り、中には給料全部を生計費の補助に充てて了ふ者もあり、貯金して嫁入仕度の準備を爲すものや、子女の養育費に充てる者等あつて、一樣には云はれないが、千八百八十三人の女工に就いて、其の支途を平均して見ると、給料、二十六圓十七錢の六割九分四厘即ち、十八圓十六錢を生計費に、一割二分八厘、三圓三十六錢を貯金に、一割七分九厘、四圓六十九錢を小遣に消費して居る様である。

多少でも貯金してゐるのは、生計に餘裕があるからといふのではない、女工中殊に紡織女工には嫁入仕度を目的と

するものが可なりあるから苦しいながらも貯蓄してゐるのである。

女工の家族數及家族の總收入——千四十五名の女工の家族數は四千二百五十八人で、之を一戸平均にすれば四、〇六人強に當つてゐる。是等家族の總收入は一戸平均八十一圓九十六錢強で、家族一人に割當れば、一人當の生計費は二十圓十一錢強となる。而して家族の收入に對する女工の收入は、三割一分九厘に當つてゐる。

女工の健康狀態——千六百八十九人の女工中無病の者は其の八割四分即ち千四百二十二人で、二百六十七人は病氣に悩んでゐる者である。病氣種類は

胃病	八二	足痛	七人	扁手足	二人	手のあれ	一人
頭痛	四一	脚氣	七	鼻カタル	二	貧血	二
肺病	三三	リヤウマチス	六	氣管支カタル	二	痔疾	二
婦人病	二八	喘息	六	神經痛	一	癩癧	一
眼病	二〇	心臓	四	助膜	一		
身病	一七	齒齦	三	感冒	一		

胃腸病の多いのは敢えて女工許りでは無いが、女工は粗食の上に休憩時間が少いから、過勞のために消化不良に陥るのではあるまいか、又比較的頭痛、腦病の多いのは、衛生設備が不完全の上長時間日光にも、新鮮な空氣にもふれないで操業してゐる爲めではなからうか、次に婦人病の多いのは悲しい事である、月經時の不攝生にも依るであらうが作業狀態や、風紀等にも關係して居ることと思はれる。尙女工が外傷其の他業務に基く疾病を蒙る事が可成り多いが、其主なるものを擧ぐれば(三百十七工場中)次のやうである。

外	傷	皮膚病	其	他
創傷	五五	水痘	一五四	
骨折	三三	虫疹	六	
刺傷	二〇	一	二	
火傷	八	鉛中毒	一	
捻挫	七			
打撲	一			

月経時の作業に就いての回答 (千六百九十八人中)

- 一、作業上苦痛を感じざるもの 九二
- 一、苦痛堪へ難きため缺勤するもの 一
- 一、非常に苦痛を感じるもの 三二
- 一、二三日苦痛であるといふもの 八〇
- 一、輕き苦痛を感じるといふもの 五五
- 一、休養の保護施設を希望するもの 四八
- 一、作業には支障ないといふもの 四六
- 一、經期中の夜業は特に苦痛であるといふもの 三

右に對して三百十七工場中多少なりとも、保護施設のある處は僅々九工場に過ぎず他は極めて冷淡な態度に出てる。

産期の保護施設——三百十七工場中保護施設のある處は百三工場に過ぎない、就中産前産後、七週間の休養を與へて、其の間は日給の二分の一を支給するものが、其の大部分を占めてゐる。其の他共済組合の扶助規定に依つて扶

助してゐる處もある。

乳兒哺育——女工の有配偶者三割七分の中子供のゐるものは、二割四分で、四百三十人の女工には七百八十二名の子供がある故、一人當にすれば一、八人の割合になる。婦人の天職たる育児を生活難のために、度外視して乳兒を抱へながら工場通をするといふことは同情に堪へない事である。之等の乳兒は工場附屬の託兒場や、或は休憩時間を利用して母乳で育てる者もあるが、大部分は自宅に於て子守や、家族の手に依つて牛乳其の他の人工營養で育てられてゐるのである。従つて乳兒を愛育することが出来ない故著しく乳兒の死亡率が高くなつて行くのである。

哺乳時間と與へてゐる處は、三百十七工場中僅か百工場に過ぎない。それも大部分休憩時間を利用して、哺乳せしめてゐるのである。

哺乳時間 (三百十八工場中)

一日三回 (午前、午後、正午)	給與時間をあたふるもの	五九工場
一日四回 (午前午後各二回)	同	六工場
一日二回 (午前、午後十五分づゝ)	同	一工場
一日一回 (正午三十分)	同	三工場
隨意哺乳せしむるもの		二七工場
二時間毎に給與せしむるもの		二工場
三時間毎に十分の哺乳時間を與ふるもの		二工場

託兒場のある工場 (三百十七工場中)

- 鐘ヶ淵紡績株式会社
- 富士紡績押上工場
- 同 小名木川工場

東洋モスリン 第一工場
同 第二工場
東京キヤラコ製織株式會社
東京モスリン紡織株式會社
日本製麻赤羽工場
東京毛織南千住工場
大日本紡績深川工場
三田土ゴム株式會社
星製藥大崎工場
陸軍千住製絨所
陸軍被服本廠
陸軍糧秣本廠製造部
煙草專賣局淺草工場等

風紀——「國を出る時は父母に金を送ると云ふて出たが、何時しか男工さんに欺かれて、三年満期にヤ丸裸」と又娼妓の前身が其の三割までは女工であつたといふ事である。

家庭を離れた妙齡の娘が、單調な寄宿舎生活をしてゐるとすれば、暖い愛情に飢えてゐることは勿論である。然かも無教養の爲めに、意志の力が弱く誘惑に打ち勝つことが出来ない者もある、其の他環境に支配せられて節操に對する觀念が薄弱であり、且多少金錢が自由になることや、仕事が無趣味である爲、實感的方面に走り易いといふ缺陷があるのに掲て加へて、外部から之を誘惑墮落せしむる惡魔が牙を磨いて待つてゐるのである。たま／＼夜業の際、或は芝居、活動、小料理や、工場附近の小路廣場男工の寄寓せる二階等で、甘い囁きを受ける時は、忽ち青春の血が燃

えて何等の自制、何等の反省もなく一歩／＼倫落の淵に陥つてしまふ者も無いとは言はれないのである。

工場の設備及び待遇に關する女工の希望 (回答者三百五人中)

- 一、八時間労働を望むもの 四〇人
- 一、晝食後の休憩時間を一時間にして頂き度 九
- 一、日曜日を公休日にして頂き度 二一
- 一、夜業を廢し尙且つ十時間労働を望む 二五
- 一、工場や宿舍の衛生設備を完全にして頂きたし 六二
- (随分塵芥がひどくて頭を一週間も洗はずに居りますと臭くなります。又鼻の穴など半日で眞黒になります、此のほこりには何でも鉛毒があるといふから氣味が悪いのです。(印刷女工))
- 夏季扇風機、冬季はストーブを設備して頂きたし
- 一、運動場及運動具の設備を望む 一七
- 一、娯樂教養機關の設備を望む 一八
- (補習教育、精神講話、音樂會等)
- 一、待遇の平等及改善 五二
- 女工に對して粗末な言葉を遣はぬ様
- 給料は袋に入れて且金額を記入して
- 性別をぬきにして働きに應じた勞銀を
- 日給をあげること
- 三ヶ月無缺勤者には必ず昇給を
- 病氣缺勤にも給料の幾分を
- 一定時間以外に自由外出を

○作業中の病傷に對しては十分の手當を

○浴場を建て歸りには入浴の出来る様

○歸り仕度に手間どるから十分前に止めること

○腰かけて仕事をしたい

○自由と權利とを與へられたし

一、體質に適應した仕事をさせて頂きたし

一、女工監督者には女工を指導し得る人格者を望む

一、宿舍を設備して欲しい

一、洗面所を設備して欲しい

一、便所、食堂、衣更室を改善して頂き度し

一、食べ物を改善して頂きたし等

第二 派出婦會に關する調査概況

本調査は大正十一年七月、市内二十二箇所の派出婦會に調査票を配布し十七箇所よりの回答及實地調査等に依り、得たる材料を基礎として集計したるものに最近の状況をも附加して記述したものである。

派出婦會——女中拂底の際簡便に雇へる點から、近來派出婦會を利用する家庭多く相當便利な機關として、認められてゐるが、然し未だ會其ものも亦雇傭者側にも派出婦にも、理解が足りない處からお互に不平不満があり、風紀衛生等に關しても種々なる弊害が伴ふので、早晚派出婦會改善のため、警視廳で、取締法規が制定されることになつてゐる。

派出婦會の起源と其の趨勢——大正七年元女子實務學校の河口愛子氏が歐米の例に倣ひ、女中難緩和のため、大日

本婦人共立會と稱する派出婦會を創立したのが始まりで、爾來此の種の會が雨後の筍の如く、簇出し大正十一年頃には府下に、二十四五箇所もあり、其の會員數約二千人に達し其の中實際働いてゐる者も其の當時は、會員數の約半數六百九十人であつたが、震災後の今日では多少増加の傾向で約七、八百人の婦人が派出婦として、働いてゐる様に推定される。派出婦會中家庭婦人會、婦人共同派出會、婦人家庭派出會等は二百人内外の會員數を有してゐるが中には十人位の處もあり、普通三、四十人程度の處が最も多い様である。

派出婦會の組織及内容——表面は大抵會員組織となつてゐるが、内面は皆個人の經營である。而して其の大部分は、派出婦から入會金として一圓の外、日給の一割五分を手數料として徴收してゐる、(尙中には其の外に毎月會費一圓を取つてゐる處もある。)其の他雇傭者側からも、一期間二週間毎に、二十錢乃至三十錢の手數料を申受けてゐる。絶えず新聞雜誌等に廣告して派出婦を募集し、雇募の婦人を健康狀態其の他型ばかりの試験の上入會金一圓に、保證人二名を立てさせ、履歴書、戸籍抄本をも提出させて、會員とし夫々求人申込みの家庭に派出周旋の勞を取つてゐるのである。而して其の派出料の集金方法は一期間の終に派出婦をして、派出料、手數料及往復電車賃とを請求受領せしめ、其の中から會主へ規定の手數料を支拂はせてゐるのである。

派出婦需給狀態——求人に對して求職者は割合に尠く、圓滿な需給狀態とは云はれない様である。派出婦の最も需要のあるのは、炊事、洗濯、掃除等の雜用を辨する雜用婦で、需要の八割を占めてゐる。次は病産婦附添婦で、裁縫婦、家政婦、給仕婦等の需要は極く僅かである。

其の勤務狀態は雇傭者側に於ては、通勤よりも住込を希望してゐる關係上殆ど住込みである。勤務時間は朝六時か

ら夜の七時迄となつてゐるが、大抵不規則な家庭生活に支配せられて、普通の女中の様にだらしない勤務振りで余り能率はあがつて居ない。

派出婦の前身及出生地——派出婦の前身は女中奉公をしてゐた者が多く、其の他女工、女給をしてゐたもの、夫に去られたもの、子供を残されて死別したもの、又は稀には産婆、看護婦、教員等に経験のある者もあるが、純な娘は極く少數の様である。

其の出生地も殆ど全國に渡つてゐるが、最も多いのは東京でそれに次いで近縣地方、東北地方で關西地方は極く僅である。

出生地 (三百七十人中)

東京	八一人	千葉	二四人	茨城	二一人
神奈川	一六	長野	一三	埼玉	一一
新潟	一一	群馬	八		

派出婦の配偶關係は九百三十五人中、有配偶者二百二十六人に對し、獨身者は七百九人を占めてゐる。總數の七割五分は獨身者といふことになつてゐるが、夫れは他の職業婦人の如く、大部分が未婚者であるといふわけではない。離婚した者、寡婦になつた者が比較的多數を占めてゐるといふことは、其の年齢からも、亦有配偶者二百二十六人に對して、子供のある者が三百七人もあると云ふことから容易に推測が出来るのである。

即ち其の年齢別を記すと (千二百四十二人中)

二〇歳以下	四二人	三〇—四九歳	五八六人
二〇—二九	五六二	五〇以上	五二

從來の女中は大部分が未婚者で、年齢も十四五歳から二十一二歳の者が最も多く、嫁入仕度と家政の見習とを主眼として居るに反し派出婦は二十四五歳から三十五六歳の主婦盛りの年齢の者が最も多く、自由と収入とに重きを置いてゐる。而して其の教育程度(千二百四十二人中)

教育程度(千二百四十二人中)

無就學の者	一六人
義務教育終了のもの	九七七人
高女卒及半退のもの	二四九人

派出婦の收入——派出婦の日給は左の如く、最低八十錢から、最高四圓までであるが、普通一圓といふ處が最も多い。住込通勤に係らず、食事及往復の電車賃は雇傭者持である。されば其の一ヶ月の收入は最高四十五圓、最低九圓普通二十七八圓といふ處が最も多い。けれども此の中から一割五分を會主に差引かれる故、手取り二十三圓といふ處が最も多い様である。

派出婦の種類及日給

一、雑用婦	八十錢乃至一圓三十錢
一、病産婦附添婦	一圓三十錢乃至一圓五十錢
一、家政婦	一圓五十錢乃至二圓
一、裁縫婦	一圓十錢乃至一圓五十錢
一、給仕婦	三圓乃至四圓

從來の女中に競べると幾分か収入も多いし、自由が利くといふ處から相當希望者もあるが、今日の派出婦はまだ餘

りに無教養で責任觀念に乏しく、歐米の女中の如く能率があがらない。されば派出婦の教養機關の設置は斯界の發展上何よりの急務である。又病産婦附添婦は看護婦と抵觸するので問題になつてゐる。風紀の點に關しては中には妻代の女が欲しいと申込む不眞面目の者もあるに對して、一方樂をして金儲けをしたいと我から望む派出婦もあるといふ狀であるから、罪は双方にあると云はなければならない。取締法規が施行せられて當業者も派出婦も雇傭者も自覺せぬことには折角便利な機關も社會から其の眞價を認められることが困難であらう。然し最近「働く會」の峰田一歩氏が、王道婦人職業紹介所を創立して、派出會改善の先驅をなしたのと、一方八箇所の派出會が聯合して東京派出婦聯合會を組織したのは大いに注目すべきことである。

王道婦人職業紹介所の特色は普通の派出婦會と異つて派出婦から、入會金、手数料等一切取らず無料で周旋してやり雇傭者側からは、給料の一割を會の維持費として徴収するだけである。其の他勤續期間を一期間と定めず、なるべく地方の純朴な娘を嫁入まで勤務させる方針で、尙月一回宛會に集めて、講演會等を開催し教養につとめる外、勤先巡回監督の勞をもとるといふことである。

東京派出婦聯合會 理事 山田富貴子
堀越敏子

- 家庭婦人會
- 婦人共同派出會
- 家庭派出會
- 東京派出婦會
- 東京婦人會
- 婦人はたらき協會
- 赤坂區青山南町二ノ七一
- 四谷區南伊賀町三七
- 牛込區水道町五二
- 四谷區仲區二ノ七
- 麻布區市兵衛町二ノ七〇
- 牛込區市ヶ谷田町三ノ一六

婦人復興會

職業婦人派出會

赤坂區青山六丁目一四七
市外澁橋町六〇七

左に派出婦會、派出婦、雇主等別々な立場から希望や所感を聞いたのを参考のため記せば

派出婦會から派出先の家庭に望む條件

- 一、家庭の仕事を規則的にして頂きたい。
- 一、勤務時間を定め休憩時間を與へて頂きたい。
- 一、派出婦を輕蔑して呼び棄にせず、よく人格を認めて理解して頂きたい。

派出婦會として痛切に感ぜらるゝ點

- 一、派出婦として必要な育児、裁縫、看護、料理、掃除、洗濯、經濟等家政一般に關する教養機關を設置した。
- 一、派出婦の品性、人格の向上を計り高尚な趣味を與へたい。
- 一、宿舍及び附屬託兒所を設置したい。

派出婦會から見たる派出婦

- 一、自己の責任を自覺せぬこと。
- 一、時間の觀念なく、常識に乏しきこと。
- 一、給料ばかり望み實質の伴なはぬ恨みがあること。

派出婦の雇主に對する所感

- 一、だらしない家庭生活の爲め、時間外も休憩時間も無視して、無制限に酷使さること。
- 一、食事の極端に粗惡なると、寢具の不潔なること。
- 一、主婦なき派出先の主人から誘惑さるゝこと、及び不謹慎なる主人の戲言より主婦の誤解を招き、家庭の平和を亂すことの心苦しいこと。

無理解のため給料が高過ぎると云はれたり、人格を無視されて純然たる下女扱にされたりすること。

派出婦會一覽 (順序不同)

會 名	所 在 地	派 出			雇 傭 者 側	
		入會金	手数料	會費	一期間	手数料
王道婦人職業紹介所	峰田 一步	無	無	無	一週間	一ヶ月の給料
家庭婦人會	山田富貴子	一〇〇	一割五分	一〇〇	二週間	二〇
婦人共同派出會	大和 俊子	一〇〇	同	同	同	三〇
婦人家庭派出會	堀越 敏子	一〇〇	同	同	同	三〇
婦人はたらしき協會	天野 梅野	一〇〇	一割	同	同	一
青山婦人協同會派出部	瀧森志賀子	一〇〇	一割五分	同	二週間	二〇
赤坂婦人派出會	赤池加代子	一〇〇	同	同	同	一
家政互助會	内田みゆき	一〇〇	同	同	同	一
彌生婦人派出會	久世 鞠子	一〇〇	同	同	同	一
經世婦人協會	相澤つね子	一〇〇	三割	同	同	三〇
ゆりのや派出婦會	水落 菊子	一〇〇	一割	同	一週間	二〇
大日本婦人共立會	鈴木 牧尾	一〇〇	一割	同	年額	二〇〇
京橋家庭婦人派出會	大谷 なき	一〇〇	一割	同	半々年分	一〇〇
	京橋區長崎町一ノ一二					
	京橋七五三番					

第三 女子専門學校及職業學校 (順序不同)

附 校	校 名	所 在 地	日 的	學 部	修 業 年 限	入 學 資 格	學 費
	中央婦人派出協會	平井 富士	芝區濱松町二ノ二〇	一、〇〇	一割五分	二週間	二、〇〇
	婦人共同派出婦會	小田 こう	市外大崎町居木橋四	一	割	初回申込	二、〇〇
	平和派出婦會	大熊 文子	麹町區飯田町六ノ一	一、〇〇	一割五分	十日間	二、〇〇
	婦人共勵會	伊藤 久子	本郷區駒込達達町七	一、〇〇	同	十日間	二、〇〇
	大正婦人派出會	尾花 その	小石川區諏訪町三	一、〇〇	同	十日間	二、〇〇
	美やこ婦人派出會	小田喜よし子	牛込區市ヶ谷田町一ノ一五	一、〇〇	一割五分	二週間	二、〇〇
	聖婦人派出會	日野 律子	西巢鴨町八二九	一割五分	一、〇〇	一ヶ月一回	二、〇〇
			小石川四六六七番				
	日本女子大學校	小石川區高田豐川町	女子高等教育機關	文科(英文學部) 四ヶ年 高女卒 受験料 二、〇〇〇 理科(理化學部) 同 同 同 同 同 同 實科(家政學部) 同 同 同 同 同 同 (師範家政學部) 二部三ヶ年 同 同 同 同 同 同	入學料 年七五、〇〇〇 校費 年七五、〇〇〇 教授料 年六六、〇〇〇 受驗料 年六六、〇〇〇 入學檢定料 年六六、〇〇〇 授業料なし	三、〇〇	
	東京女子大學	府下井荻村字上井草北	基督教主義の最高教育機關	高等學部 三ヶ年 高女卒 教授料 年六六、〇〇〇 英語專攻部 一ヶ年 高女卒 受驗料 年六六、〇〇〇 英語專攻部 三ヶ年 同 入學檢定料 年六六、〇〇〇 家政專攻部 同 同 授業料なし	三、〇〇		
	東京女子高等師範學校	本郷區湯島五丁目(お茶の水)	中等教員養成所	文科(英文學部) 四ヶ年 高女卒 受験料 二、〇〇〇 理科(理化學部) 同 同 同 同 同 同 實科(家政學部) 同 同 同 同 同 同 (師範家政學部) 二部三ヶ年 同 同 同 同 同 同	三、〇〇		